

# 棚田地域振興法事例集

～ 棚田地域振興活動実践編 ～

---



**内閣府**  
**地方創生推進事務局**

令和4年1月

# 本事例集について

令和元年8月に棚田地域振興法が施行され、多様な主体が参画する地域協議会による棚田を核とした地域振興の取組を関係府省庁横断で総合的に支援する枠組みが構築されました。

法律が施行され、約2年が経過した現在、多くの地域において本法律を活用していただいております。

これらの地域に御協力いただき、指定棚田地域振興活動計画の認定後、実際に棚田地域で行われている取組について、協議会ならではの取組やコロナ禍で工夫している取組などの情報を交えてご紹介いただきました。

今後の棚田地域振興の取組開始の参考としていただければ幸いです。

## 【お問合せ先】

内閣府地方創生推進事務局

TEL（直通）：03-6257-1410

e-mail：i.tanada@cao.go.jp



棚田地域振興法に関する詳細はこちら

## 【目次】

- ①山形県白鷹町 白鷹北部地区棚田地域振興協議会
- ②新潟県十日町市 松之山指定棚田地域振興協議会
- ③長野県上田市 稲倉の棚田地域振興協議会
- ④静岡県松崎町 石部棚田振興協議会
- ⑤石川県七尾市 美土里ネットなたうち振興協議会
- ⑥和歌山県那智勝浦町 色川棚田地域振興協議会
- ⑦和歌山県紀美野町 小川地域棚田振興協議会
- ⑧岡山県真庭市 湯原棚田地域振興協議会
- ⑨高知県本山町 本山町棚田地域振興協議会
- ⑩長崎県平戸市 春日の棚田振興協議会
- ⑪熊本県球磨村 球磨村棚田地域振興協議会

本町は、朝日連峰と白鷹丘陵により三方が山で囲まれた盆地を形成し、町の中央を最上川が流れ周囲には水田が広がる自然豊かな町であり、鮎貝地区は最上川の西側に位置し、本町の飲料水になる実淵川が流れている。鷹山地区は白鷹山のすそ野に広がる丘陵地帯に位置し、朝日岳を間近に望む雄大な景観が広がる地域になっている。令和3年4月に本協議会を設立し、活動計画の目標達成に向け各種事業を今後実施していく予定である。

## 【基本情報】

- 保全を図る棚田等：  
250ha（内棚田137ha）
- 指定棚田地域：  
鮎貝清流棚田、  
白鷹丘陵棚田
- その他：  
やまがたの棚田20選  
（深山、中山）



鮎貝清流棚田（深山地区）

活動収入	米・加工品の販売	-
	棚田オーナー	-
	イベント	-
	レストラン、農泊	-
その他（構成団体からの活動助成、積立金）		100%

## 【協議会の構成員と体制】

### 【白鷹北部地区棚田地域振興協議会】

#### 【鮎貝地区協議会】

鮎貝地区  
鮎貝地区コミュニティセンター  
4 集落協定

#### 【鷹山地区協議会】

鷹山地区  
鷹山地区コミュニティセンター  
3 集落協定

#### 【集落協定が主として実施】

・棚田の営農、維持保全  
【構成員が連携して実施】

・鳥獣対策  
・特産品の開発  
・地域紹介用動画の作成・公開

連携

#### 【事業支援】

山形県置賜総合支庁  
白鷹町、白鷹町農業委員会

#### 【展開先・情報共有】

企業・地域おこし協力隊・  
大学・鳥獣対策協議会・猟友会 など

#### 【開発・販売支援】

白鷹町観光協会  
白鷹町商工会  
山形おきたま農業協同組合

## 【棚田地域振活動計画の目標・主な取組内容】

### （1）棚田の保全

- ・共同機械（自走式草刈機、ドローン等）を協議会で購入し、農作業の効率化や負担の軽減につなげる。
- ・地域の農業を持続するため、条件の良い農地を保持しながら山際耕作地の山戻しや農地境界の管理を地域が一体となって行う。



自走式草刈機

### （2）棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

- ・年々増加する鳥獣被害を抑えるため、地域全体でわな免許の取得など対策を講ずる。
- ・農産物の供給促進と農業所得の向上のため、地域の特産品となる商品を開発し生産・販売を行う。



白鷹丘陵棚田（中山地区）

### （3）棚田を核とした棚田地域の振興

- ・農産物の直販イベントを開催することや棚田の風景や地域の行事の様子をインターネット上で公開することで、地域の交流人口の増加を図る。

### ここがポイント！

地域の“わがいしゅ”が楽しみながら、できるときに活動しています。

## 【白鷹北部地区棚田地域振興協議会ならではの取組】

- ・昔から地域の生活や農業に使用されてた湧水を活用した根わさびの栽培を始めた。栽培初心者なので、試行錯誤しながらほ場を整備し、虫の食害対策等について専門家の指導を受けつつ、3年後の収穫・販売を目指している。また、同会では棚田を活用した餅米の栽培も始めた。



湧水を活用した根わさび

## 【コロナの中で工夫している取組】

現在のところ令和3年度の活動は、勉強会等を予定しているため基本的な新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。

- ・手指消毒
- ・マスクの着用
- ・会場での検温
- ・換気
- ・参加人数の制限
- など

長野県境に位置し、日本有数の豪雪地かつほぼ全域が地すべり地帯でもある松之山地域は、ブナを中心とした広葉樹林が広がる中山間地域である。高齢化・少子化が深刻で美しい棚田の維持に必死の努力を重ねている。日本三大薬湯の松之山温泉や大地の芸術祭など豊かな観光資源を活かし、年間を通じて多くの観光客が訪れる。

## 【基本情報】

- 保全を図る棚田等：  
424.6ha
- 指定棚田地域：  
十日町市松之山地域の  
14地区の棚田
- 日本の棚田百選  
(狐塚の棚田)



留守原の棚田

活動収入	
	協議会の活動は、各構成員毎の取組となっており、それぞれの活動収入は把握していない。

## 【協議会の構成員と体制】

11集落協定  
松之山農業担い手公社  
越後田舎体験松之山地区協議会  
↑(情報提供、活動計画策定支援)  
十日町市

【農】

棚田の営農・維持保全

協力

地域振興

## 【まちづくり】

4地区協議会  
松之山商工会  
松之山建設業協会  
NPO法人ふるさとワッショイ  
合同会社うらだ

観光協会松之山支部  
松之山温泉組合  
合同会社まんなま  
湯米心まつのやま

【観光】

## 【棚田地域振活動計画の目標・主な取組内容】

### (1) 棚田の保全

- ・耕作放棄地8.5haのうち40aを蕎麦畑として再生する。
- ・地域おこし協力隊制度を活用し、棚田の保全に取り組む新規就農者を確保する。

### (2) 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

- ・畦畔の刈り草を堆肥化し、環境保全型農業の担い手を増やす。
- ・地域住民の手により、棚田周辺に桜・アジサイを植樹し良好な景観形成を図る。

### (3) 棚田を核とした棚田地域の振興

- ・農業後継者を目的とした地域おこし協力隊員の導入により移住者を確保する。
- ・集落内の空き家を再生・活用する。
- ・棚田米を原料とした日本酒の製造販売を維持する。



耕作放棄地を蕎麦畑に



環境保全型農業の実施



桜・アジサイを植樹し良好な景観を保つ

## 【松之山指定棚田振興協議会ならではの取組】

温泉関係者など観光分野の団体に強く働きかけることで、棚田維持に関わる多様な人材を構成員に取り込むことができた。

日本三大薬湯「松之山温泉」は当地域の有きな観光資源。



## 【コロナの中で工夫している取組】

棚田体験イベントは移動制限などにより開催困難となったが、代わりにインターネットを使った体験会を計画中。

棚田関係の食材を参加者に事前送付し、講師が画面越しに調理方法を解説。当地への興味を持たせ訪問のきっかけに。



空き家を再生し棚田保全に取り組む地域おこし協力隊の住居に

## 【コンシェルジュの活用状況】

- 協議会からコンシェルジュに相談したこと  
観光協会が実施主体となる国の支援事業について研修会を実施。

## 【協議会における関係省庁の事業の活用】

- 活用されている(予定している) 予算事業
  - ・中山間地域等直接支払交付金(農水省)
- 活用した際のポイント
  - ・棚田地域振興活動加算に取り組み、各集落協定ごとの特色ある活動に活用。



棚田産米を原料とした日本酒の製造

棚田オーナー制度から参加型イベント、クラウドファンディングまで、新たなチャレンジを継続し、棚田ファンの獲得と安定した棚田保全活動を実現！

## 【基本情報】

- 保全を図る棚田等：14.8ha
- 指定棚田地域：殿村地域 稲倉の棚田
- その他：農林水産省 棚田百選
- 活動資金（稲倉の棚田保全団体ベース）



補助金	国：■ 中山間直払 ■ 多面支払 □ 鳥獣交付金、□ その他	35%
	県：ふるさと信州棚田支援事業 市：棚田保全活動推進事業	20%
活動収入	米・加工品の販売	15%
	棚田オーナー	25%
	イベント ※体験学習により棚田オーナーと同程度の収入が予定されていたが、今年度はコロナ禍での取組休止により収入なし。	0%
	レストラン、農泊	-
その他：保全活動協力金（現地に寄付金箱を設置）など		5%

## 【協議会の構成員と体制】

### 稲倉の棚田保全委員会【営農】

- ・ 構成員：80名（農家7割、非農家3割）
- ・ 活動内容：営農保全活動、オーナー制度、学校体験学習、棚田米の販売、各種イベントなどの実施

### 稲倉の棚田地域振興協議会

- ・ 自治会
- ・ 上田市地域おこし協力隊員
- ・ 中山間直接支払組織
- ・ 多面的支払い組合
- ・ 棚田ビレッジ
- ・ NPO法人まちもり（ほか）

連携

岡崎酒造(株)【酒米オーナー制度】  
棚田パートナーシップ 県内第1号  
  
(株)八十二銀行  
人的支援、活動資金支援

長野県 豊殿地区自治会連合会

上田市 豊殿まちづくり協議会

オーナー・都市住民等

観光・購入 連携・参加

## 【棚田地域振活動計画の目標・主な取組内容】

### (1) 棚田の保全

### (2) 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

- オーナー制度の充実（棚田オーナー50組→70組、酒米オーナー15組→30組、新たなオーナー制度創設 5組以上確保）

- ・ 「棚田エリアオーナー」、「棚田サポーター」、「棚田ファン」など保全活動への参加方法により、多様なコースを設定。また、地銀最大手の八十二銀行(株)と棚田パートナーシップ協定を締結。保全活動への行員・ご家族の参加や、活動費への支援を実現。



### (3) 棚田を核とした棚田地域の振興

- 棚田米（酒米）を原料とした日本酒の製造・販売促進（酒米オーナー15組→30組）

- ・ 地元上田市の老舗酒蔵「岡崎酒造(株)」と連携し、「信州亀齢 稲倉の棚田産ひとごち純米吟醸」を醸造。更なる製造・販売の促進に努める。



## 【稲倉の棚田地域振興協議会ならではの取組】

### ○ 「ししおどし」

- ・ 皆で松明を持って棚田を練り歩く、五穀豊穰と獣害低減の祈願祭を企画・開催。地域で長く続く伝統行事に育てたい。
- ・ 「観覧型イベント」から「参加型イベント」へ！

ここがポイント！

見るだけでなく、一緒に参加することで、より深い関わりを築きたい。



## 【コロナの中で工夫している取組】

### ○ 「クラウドファンディング」

- ・ 首都圏小中学校の体験学習中止に伴う収入減を契機に挑戦。「棚田CAMP」や「焼き芋FIRE」など多様な返礼イベントを企画。

ここがポイント！

棚田を「営農+α」として活かす。親子皆が安心して楽しめる体験フィールドに！！



### ○ 「棚田オーナー体験日程の分散」

- ・ オーナー体験の日程を10日間に分散し、感染拡大を防止。

## 【コンシェルジュの活用状況】

### ○ コンシェルジュによる動きかけ

定期的に現地へ足を運んで頂き、意見交換や、保全活動への参加を頂いた。

協議会の構成員等法の活用方法について相談し、協議会組織、活動計画の認定に至る。



## 【協議会における関係省庁の事業の活用】

### ○ 活用されている（予定している）予算事業

- ・ 地域おこし協力隊（総務省）
- ・ 健全育成のための体験活動推進事業（文科省）
- ・ 中山間地域等直接支払（農水省）
- ・ 多面的機能支払交付金（農水省）等



石部棚田のある石部地区は、松崎町南部に位置し駿河湾沿いにある小さな集落である。歴史が古く、昭和50年代までは、棚田での耕作と漁業の半農半漁生活を主としていた。

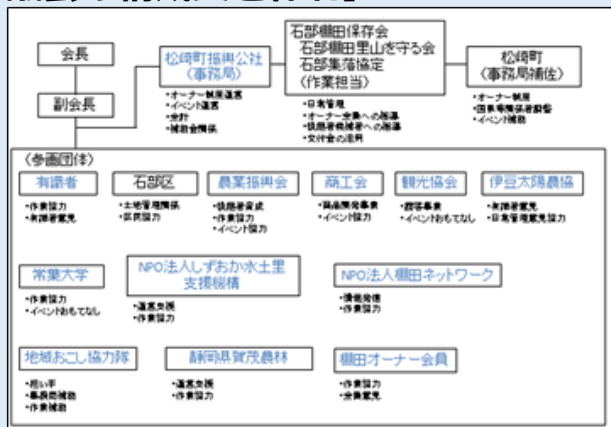
## 【基本情報】

- 保全を図る棚田等：11.2ha（内棚田4.2ha）
- 指定棚田地域：旧岩科村（石部の棚田）
- その他：立ち上がる農山漁村、美の里づくりコンクール、オーライニッポン大賞、日本で最も美しい村、ふじのくに美しく品格のある邑等



活動収入	米・加工品の販売	5%
	棚田オーナー	55%
その他（構成団体からの活動助成、積立金等）		40%

## 【協議会の構成員と体制】



## 【棚田地域振活動計画の目標・主な取組内容】

### （1）棚田の保全

- ・ 後継者の育成

保存会の日頃の作業を手伝うボランティア「いしび隊」制度では、現在34名の登録がある。日々の草刈りや農作業などを手伝ってもらうことで後継者の育成を図っている。

### （2）棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

- ・ 子供への体験学習

地元の支援学校において、棚田での作業体験に加え、棚田を通じた環境保全についての授業を実施した。

### （3）棚田を核とした棚田地域の振興

- ・ 関係人口の創出

オーナー制度会員向けに、田植え祭・収穫祭の実施に加え、「お米づくり教室」として田の草取り体験などの体験イベントを実施した。

また、オーナー制度会員の中では、会員に登録しつつ保存会へ加わり活動する会員がいる。それ以外にも、二地域居住の会員や移住を考えている会員が増えた。



## 【石部棚田振興協議会ならではの取組】

- ・ 企業、大学との取り組み

県内外の企業の協力により、石部棚田商品のPRや売上げ一部寄附、作業参加や飲料提供など、多様な面で棚田保全への協力をいただいている。

また、常葉大学社会環境学部の学生による、棚田保全作業への支援活動を行っている。年間延べ約300人の参加により、人手不足解消に向けた大きな取り組みのひとつとなっている。

ここがポイント！  
静岡県の取り組みである「一社一村しずおか運動」の認定により、今後も継続した協働活動を行うことができる。



## 【コロナの中で工夫している取組】

- ・ 事業者支援事業の実施

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内事業者を対象に、棚田作業へ協力いただいた事業者へ日当を支給し、棚田の人手の確保と事業者の収入の一部となるような取組を行った。

ここがポイント！  
事業者支援事業をきっかけに、いしび隊制度へ登録をする良い流れを作ることができた。

## 【コンシェルジュの活用状況】

法成立前、保存会との意見交換や実態把握を行い、関係事業の活用について情報交換し活用方法の相談に応じる。

当時のコンシェルジュは以前からオーナー制度会員であったため、石部棚田の内情を理解した上で対応いただいた。

## 【協議会における関係省庁の事業の活用】

- ・ 棚田地域振興緊急対策交付金（商品開発、情報発信、鳥獣被害対策勉強会・調査、後継者育成、農道整備）
- ・ 地域おこし協力隊（総務省）
- ・ 景観改善推進事業（国交省）
- ・ 中山間地域等直接支払（農水省）
- ・ 多面的機能支払交付金（農水省）

# 石川県七尾市 美土里ネットなたうち振興協議会

七尾市中島町鉤打（なたうち）地区は能登半島のほぼ真ん中で中山間地域の10集落で構成されている。人口はS60年2,390人からH20年1,081人、R1年796人、高齢化率49%。高齢化と過疎化が進行している。水田面積はS43年280ha、H20年175haと林地化と耕作放棄地が目立ってきた。町会連合会や壮年団、女性会等で構成される「鉤打ふるさとづくり協議会(H4年設立)」が「サバイバル戦略(H21)」を作成。その戦略は、①収入の確保、②雇用の場の創設、③高齢者の生きがい対策、④祭りと農業を活用した交流の促進。戦略の具体化としてほ場整備7集落130haを実施、農事組合法人の設立等により、農業を地域の一大産業に。

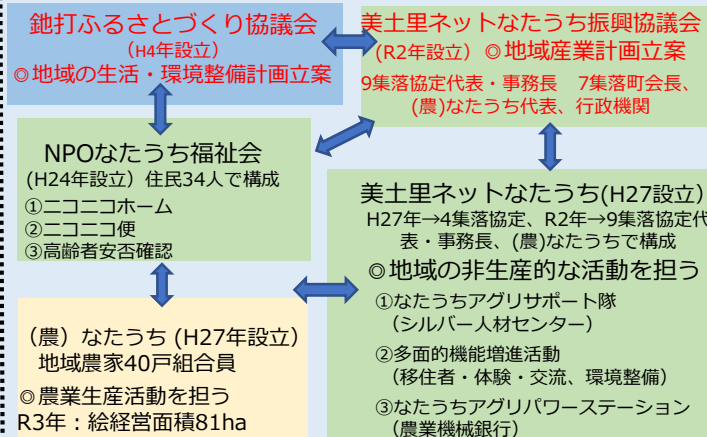
## 【基本情報】

- 保全を図る棚田等：145ha（内棚田37ha）
- 指定棚田地域：地内7集落の棚田
- その他：日本農業遺産、国の重要文化財（藤津比古神社本殿、座主家）  
平成の名水百選（藤瀬の水）



活動収入	米・加工品の販売	92%
	地区外農作業の受託	5%
	イベント(茶屋祭り、芸能祭)	2%
その他（構成団体からの活動助成、積立金）		1%

## 【協議会の構成員と体制】



## 【棚田地域振活動計画の目標・主な取組内容】

### (1) 棚田の保全

- ① 可能なほ場を大型区画ほ場整備で不耕作地の解消と省力化、機械化で耕作の持続性を図る。
- ② 集落を連携で電気柵や捕獲檻を設置、獣害（イノシシ）対策を徹底する。
- ③ 棚田の法面等の草刈りをアグリサポート隊が支援する。

### (2) 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

- ① 耕作不適地を紫陽花など4シーズン対応の植栽で公園化、住民とビジターのいやしの場とする。
- ② 急傾斜棚田は、体験・交流ツーリズムの活用のお場にする。

### (3) 棚田を核とした棚田地域の振興

- ① 棚田で栽培した大豆の味噌や能登野菜等漬物加工、6次産業化による雇用の創出。
- ② 棚田米のブランド化、個性あるパッケージで独自販売する。
- ③ 地域の伝統的夏・秋まつりと棚田農業を組み、体験・交流の促進と伝統的祭りの継承を図る。
- ④ 空き家、古民家をゲストハウスに活用、周年体験・交流で情報交換を促進する。



## 【美土里ネットなたうち振興協議会ならではの取組】

- ① 地域の住民が収穫した野菜等を直営の無人直売所で販売。
- ② 平成の名水100選「藤瀬の水」併設の直売所の拡充
- ③ アグリパワーステーション（農業機械銀行）の充実で農業機械コストの低減。
- ④ 体験・交流、移住者受け入れや地域の環境保全など非生産活動を積極的に担い、(農)なたうちの営農生産活動側面から支援。
- ⑤ 姉妹法人「NPOなたうち福祉会」と共同でニココ便（買い物代行）、配食サービス実施。

### ここがポイント！

◎週3回、買い物同伴や代行で公共の足の確保、登録者への安否確認も行っている。

## 【協議会における関係省庁の事業の活用】

### ○活用されている予算事業

- ・中山間地域直接支払交付金（農水省：予算：21,943千円）

### ○活用を予定している予算事業

- ・過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業（総務省）
- ・予算：1,500万円

### ○活用する際のポイント

- ・新商品開発、販路拡大
- ・食品加工施設、直売所の拡充
- ・ゲストハウスの増設





那智勝浦町の北側に位置する農村集落で口色川、大野、田垣内、小阪、南平野、熊瀬川の6集落にそれぞれ保全を図る棚田が6か所存在する。地域住民の約5割が移住者であり、移住者等が協力して復田し、棚田オーナー制を実施してきた小阪の棚田を中心に、地域一体となって都市農村交流による関係人口の創出に積極的に取り組んでいる。

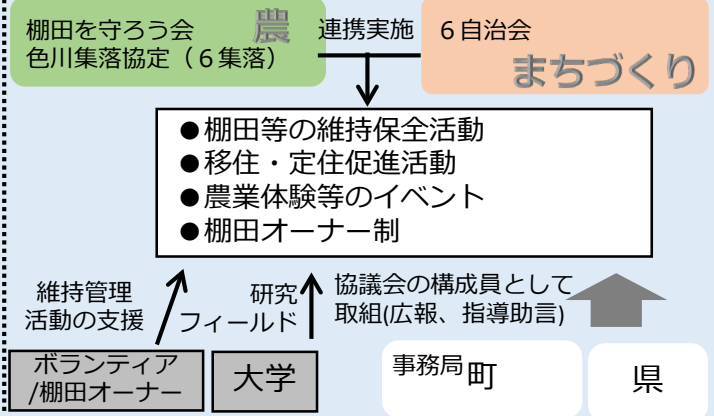
## 【基本情報】

- 保全を図る棚田等：口色川、大野、田垣内、小阪、南平野、熊瀬川 31ha (内棚田28ha)
- 指定棚田地域：旧色川村
- その他：わかやまの美しい棚田・段々畑 (小阪、南平野)



活動収入	中山間直接支払交付金 (棚田加算)	100%
------	-------------------	------

## 【協議会の構成員と体制】



## 【棚田地域振活動計画の目標・主な取組内容】

- (1) 棚田の保全**
  - ・ 耕作放棄の防止・削減
  - ・ 担い手の確保
- (2) 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮**
  - ・ 自然環境の保全・活用
- (3) 棚田を核とした棚田地域の振興**
  - ・ 棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興
  - ・ 地域の特色を活かした産品による地域振興
  - ・ 活動の関係者の拡大による地域振興



写真-1 農業水利施設の保全活動



写真-2 稲の天日干し 美しい景観形成

## 【協議会ならではの取組】

- ・ 色川棚田協議会は月1回の頻度で会議を行っており、各活動の進捗状況の確認や今後の計画等を話し合っている。
- ・ 地域の特産品づくりを目指し、わさび、小麦（パン）、大豆（豆腐）、菜種等の栽培やクラフトビールづくりを実施している。



写真-3 しめ縄作りイベントの開催



写真-4 地区の特産品にするため わさびを特殊な手法で栽培



写真-5 放棄地を利用して小麦を栽培 小麦からパンを製造

## 【コンシェルジュの活用状況】

- 棚田コンシェルジュの勉強会は地域側からの発議で実現した。
- WEBで打ち合わせを重ね内容を精査した。
- 当日は色川地区の多くの人が参加し地域の今後をどうするか積極的に議論が交わされた。



写真-6 勉強会状況

## 【協議会における関係省庁の事業の活用】

- 活用されている予算事業
  - ・ 中山間地域等直接支払交付金事業（農林水産省）
  - （活用した際のポイント）本地区は急峻な地形で営農条件の厳しい土地であるが、各地区が協力して棚田の維持管理に努めている。
  - ・ 地域おこし協力隊（総務省）



写真-7 都市住民を対象に農業体験イベント

和歌山県北部に位置する紀美野町 生石高原の麓に広がる「中田の棚田」は、「竜王水」を水資源とし600年以上の歴史を持つ棚田である。しかし、現在では3軒の農家が耕作するのみで、そのほとんどが耕作放棄された状態であった。美しい棚田の自然と農業文化を次世代に残すために、棚田再生事業を実施している。

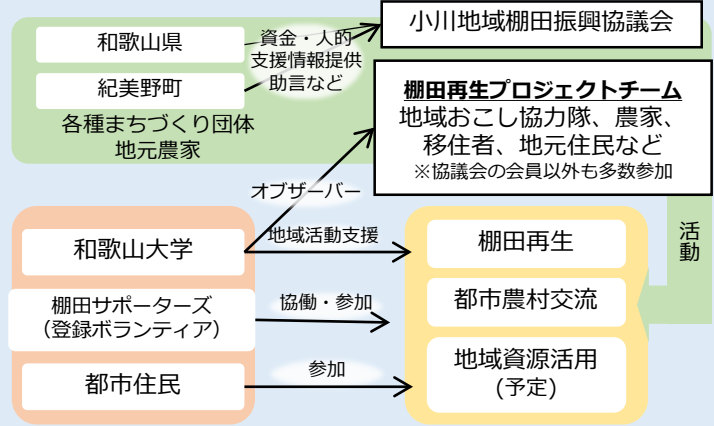
## 【基本情報】

- 保全を図る棚田等：中田の棚田 10ha (内棚田9ha)
- 指定棚田地域：旧小川村
- 活動団体：小川地域棚田振興協議会 (27名)
- わかやまの美しい棚田・段々畑 認定
- その他：活動ビジョン 「棚田で人をつなぐ、棚田が時代(とき)をつなぐ」



活動収入	割合
米・加工品の販売	0%
棚田オーナー	-
イベント	1%
レストラン、農泊	-
その他 (構成団体からの活動助成、積立金)	99%

## 【協議会の構成員と体制】



## 【棚田地域振活動計画の目標・主な取組内容】

- 棚田の保全**
  - ・耕作放棄地の再生と農地の再活用
  - ・歴史ある竜王水の活用による歴史的遺構の保全
- 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮**
  - ・環境保全型農業（無農薬栽培）による自然環境の保全と農産物の供給
  - ・石積みの修復、花木植栽による景観形成
- 棚田を核とした棚田地域の振興**
  - ・都市農村交流活動による交流、関係人口、移住者の獲得
  - ・棚田景観、活動を活かした地域内経済循環（民泊、カフェなど）



再生2年目の田棚田でヨガ

## 【協議会ならではの取組】

- 「棚田再生プロジェクトチーム」を組織
  - ・棚田を耕作する農業者は現在3人のみ
  - ・小川地域外から集まった「棚田で〇〇を実現したい」多数の住民たちが参加
  - ・プロジェクトチーム発足後、再生への想いやビジョン、活動コンセプトを共有
  - ・再生事業の取り組み内容（草刈りを含む棚田の維持管理、水路等調査・管理、イベント企画…等）

### ここがポイント！

地域の農業者を中心とした組織が多い中、「中田の棚田」では棚田再生への想いを共有した様々なプレイヤーが参加している。非農家の視点・「棚田+〇〇」の視点から、再生事業に取り組む。

「小川地域棚田振興協議会」HP



<http://kiminoriceterrace.com>

毎月発行している

## 【コロナの中で工夫している取組】

- 棚田サポーターズとオンライン交流
  - ・棚田サポーターズに登録している県外在住の方は、緊急事態宣言により受入れ中断
  - ・定期作業日に来られない方も多数いるため、オンラインで意見交換会を実施

## 【協議会における関係省庁の事業の活用】

- 活用されている（予定している）予算事業
  - ・中山間地域等直接支払制度 棚田地域振興活動加算 (農林水産省)
  - ・地域おこし協力隊 (総務省)
- 活用した際のポイント (地域おこし協力隊)
  - ・2名が着任。
  - ・棚田再生プロジェクトチームにも参加し、事業開始～拡大期の事業管理や地域内外の調整など、チームの活動アシストを担当している。

里山資本主義の取組をあらゆる地域資源に展開し、地域の価値を上げ、棚田や地域の歴史等を活用した資源化に取り組み、循環させることで、地域の生業を創出し、永続的な中山間地域を目指す。

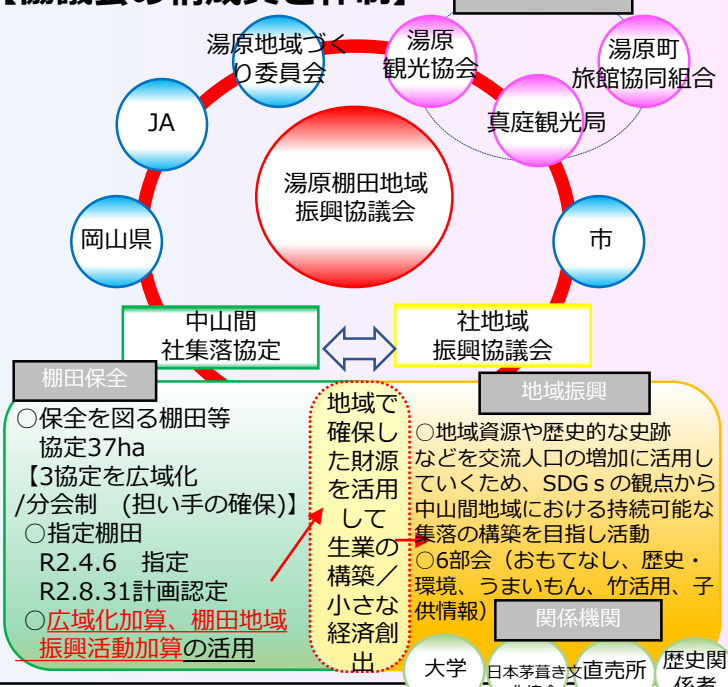
## 【基本情報】

- 保全を図る棚田等  
56ha(うち棚田41.6ha)
- 指定棚田地域  
湯原町(社棚田)  
棚田地域振興活動計画 認定
- 市の指定文化財  
・木造薬師如来坐像、大御堂、  
式内社神座、佐波良杉



活動収入	内容	割合
活動収入	米・加工品の特産品販売	13.4%
	放置竹林の活用	0.5%
	イベント(歴史ガイド)	1.6%
	宿泊(空き家活用・農泊・体験プログラム)	-
その他(中山間直払棚田地域振興活動加算)		84.5%

## 【協議会の構成員と体制】



## 【棚田地域振活動計画の目標・主な取組内容】

- (1) 棚田の保全**
- 耕作放棄の防止・削減
    - ・放置竹林のうち、新たに20aを管理竹林として整備し、放置竹林の拡大を防ぎ、農地を保全するとともに伐採した竹の活用を行う。
  - 担い手の確保
    - ・中山間直接支払制度に取り組んでいる集落協定を広域化(3協定)することで、地域全体で農地保全が行える体制を構築し、また、地域内の意欲ある担い手(1名)を中心に農地保全を図る。
- (2) 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮**
- 農産物の供給の促進
    - ・棚田米の作付面積を60aから1haに拡大し、棚田米のブランド化を図るとともに、棚田米の販路を拡大する。また、棚田米を原料とした「ヤシロモチ(加工品)」の生産量を拡大し、ふるさと納税の返礼品や、直売所での注文販売、出荷店舗数の拡大などを行い、供給数を増加させる。
  - 自然環境の保全・活用
    - ・棚田米(ヤシロモチ)の作付を行う圃場に、天然有機石灰や竹粉(放置竹林の伐採で発生した竹を活用)を有機質として散布を実施するなど自然環境の保全を図る。
  - 伝統文化の継承
    - ・地域に残る歴史資源や祭り、風習を地域住民や子供達へ伝える活動を年2回開催し、次世代へと継承する。
- (3) 棚田を核とした棚田地域の振興**
- 棚田を観光資源とした地域振興
    - ・地域の歴史資源や棚田等を含めた風景などのガイドを地域住民が行い、年間1,000名の観光客(参加者)の受け入れを目指す。

ここがポイント!  
放置竹林から竹灯籠を作り、幻想的な空間を創出



ここがポイント!  
ボランティアガイドや地域の高齢者の移動手段に電気自動車を活用。

## 【協議会における関係省庁の事業の活用】

○検討中(地域観光や歴史ツアーの拠点である「大御堂」の茅葺き替えを地域資源を活用して行いたい。葺き替えに必要な耐震強度不足により改修が必要。地域の誇りを継承、再生させていくための改修費用を、文化財保護や後世への継承を含めた観点から、活用できる事業を模索中である。)

高知県本山町は、高知市より北へ20キロ余り、四国山脈の中央部に位置する。総面積の89.1%は、急傾斜の山林が占め、周囲を山々に囲まれた盆地であり、集落・耕地は標高250m～740mの間に点在している。吉野川が東流し、所々狭い河岸平地を作っている。また、河岸平地からは、縄文時代後期の土器が出土していることから、古代からの集落形成と稲作が行われてきた歴史を持つ。

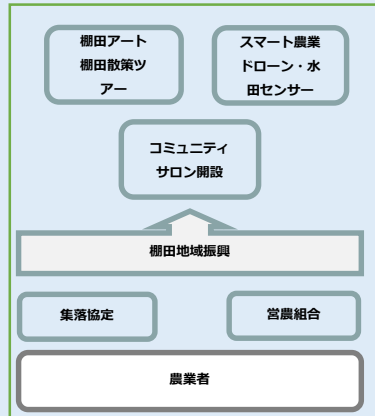
【基本情報】

- 保全を図る棚田等：約120ha
- 指定棚田地域：吉延、大石、古田・権代等

【解決すべき課題】

本山町では、人口の減少や高齢化の進展による担い手不足により、棚田の維持管理が年々厳しくなっていることから、担い手の確保が重要な課題となっている。米のブランド化や棚田を活かした「田んぼアート」の開催等の取組を行っているが、新規就農者等の人材確保には至っておらず、棚田の耕作放棄が危惧される。

【協議会の構成員と体制】



活動支援

【棚田地域振活動計画の目標・主な取組内容】

目標1 | 棚田等の保全

- ①棚田の保全
  - ⇒ 中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度等を活用しながら、棚田の耕作放棄発生を防止
- ②担い手の確保
  - ⇒ 関係機関や移住施策等と連携を図り、地域内外から担い手確保に取り組む
- ③生産性・付加価値の向上
  - ⇒ ドローンや水田センサーの活用による、スマート農業の取組を推進する

農業用ドローン  
上空より散布することで抜かりやムラを防止。



【農業用ドローン】

目標2 | 保全を通じた機能の維持・発揮

- ①農産物の供給促進
  - ⇒ ブランド米「土佐天空の郷」生産面積40haに向上
- ②自然環境の保全・活用
  - ⇒ 鳥獣被害防止被害額 1.5ha/180万に減少
- ③集落機能の強化
  - ⇒ コミュニティサロン開設（令和6年度まで）

鳥獣防止柵  
高知県鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、侵入防止柵を設置。（全長：約25km）



【鳥獣防止柵】

目標3 | 棚田を核とした棚田地域の振興

- ①都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大
  - ⇒ 棚田オーナー制度（目標 年間5組）
- ②観光資源としての地域振興
  - ⇒ 棚田アートや棚田散策による観光客誘致 直販所の開設（目標 年間売上30万円）

棚田アート2021  
今年度の取組が、日本テレビ系情報番組で全国放送され話題に。



【棚田アート】

【協議会における関係省庁の事業の活用】

- 活用している予算事業（農水省以外）  
内閣府【地方創生推進交付金】（本山まるごと産地付加価値推進事業）
- 活用した際のポイント  
農山村と観光の連携事業、おむすび事業での雇用推進等により、地域活性化を図る。



【地域の小学校の食育事業と連携し田植え体験を実施】

# 長崎県平戸市 春日の棚田振興協議会

まちづくり協議会、中山間直払協定組織、平戸市が文化的景観保護制度などを活用し、棚田を含む地域資源を活かした集落の活性化に取り組む。世界文化遺産登録を契機に交流を軸にした取組を更に推進。

## 【基本情報】

- 保全を図る棚田等：11ha
- 指定棚田地域：春日の棚田
- その他
  - ・重要文化的景観「平戸島の文化的景観」(H22)
  - ・世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」(H30)

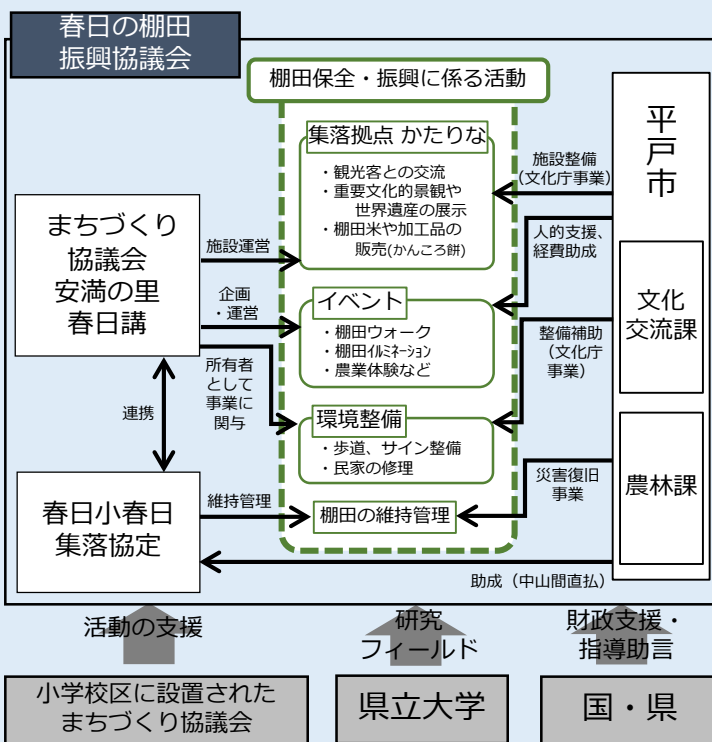


- これまでの取組
  - ・市が文化庁事業を用いて空き家を改修した案内所を建設。地元住民が来訪者に集落の解説を行い、お茶をふるまうなど地元住民との交流の場として好評である。
  - ・棚田米の高付加価値化を進めるため、企業と連携して棚田米を原料とした菓子を商品化。「平戸春日米のかんころ餅」として案内所で販売。協議会構成団体の重要な活動財源になっている。



活動収入	内容	割合
米・加工品の販売		58%
イベント		14%
その他の物販など		28%

## 【協議会の構成員と体制】



## 【棚田地域振活動計画の目標・主な取組内容】

### ● 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

春日集落案内所で、春日の棚田米や棚田米を原料とした加工品（平戸春日米のかんころ餅及び日本酒）を販売し、令和2年度は売上高1,035,076円を達成。

### ● 棚田を核とした棚田地域の振興

春日の棚田の良さを広く知ってもらうため、春日集落案内所を拠点に、マスメディアやSNSなどを活用した情報発信、イベントの開催などを通して、都市住民と地元住民の語らいを中心とした交流を推進し、令和2年度には延べ15,517人が来訪。

## 【協議会ならではの取組】

- ・集落への来訪者と住民が交流できる仕組みをつくり、そこを高齢者が活躍できる場とした。⇒毎日の生活に楽しみが生まれた。
- ・棚田米の直売のほか、加工品の販売で小さくとも持続的に収入を得る仕組みをつくった。⇒活動収入の一部となった。
- ・案内所売店の利益の一部を集落（自治会）に還元できる仕組みをつくった。⇒環境保全経費に充当される。

## 【コロナの中で工夫している取組】

- ・SNSの活用や携帯電話を使ったスタンプラリーなど、コロナ禍を踏まえたイベントを試験的に実施している。

## 【コンシェルジュの活用状況】

### ○ コンシェルジュによる働きかけ

- ・文化庁文化財調査官から平戸市へメールによる情報提供がある。省庁間をこえた幅広い内容も多く含まれており、企画立案や制度の活用を行う上で有用である。

### ○ 協議会からコンシェルジュに相談したこと

- ・他地区の取組や人材育成、広域連携について相談中。

## 【協議会における関係省庁の事業の活用】

- 活用している予算事業（農水省以外）
  - ・重要文化的景観保護推進事業（文化庁）
  - ・地域文化財総合活用推進事業（文化庁）
- 活用した際のポイント
  - ・棚田地域の活性化という視点から、農水省事業と文化庁事業の効果が十分発揮できるよう留意した。

石積研修会



棚田米の直売



春日集落案内所



住民が楽しく誇りを持って暮らせる集落であることは重要である。

ここがポイント！  
まずは、小さくとも成功事例をつくり、棚田地域で生活する誇りや生きがいを創出すること。長期的に担い手の確保や地域でかせぐ仕組みづくりへと発展させること。

ここがポイント！  
感染症対策の正しい知識を得て、やれることから実施する。

球磨村は熊本県の南部、人吉球磨地方に位置する。総面積の88%を森林が占め、耕地率は8%の典型的な山間農業地域である。広い山間地に79の集落が散らばり、急傾斜地に拓かれた棚田や段々畑で農業が営まれている。条件不利性を克服しながら拓かれた棚田の景観は美しく、日本棚田百選に鬼ノ口棚田と松谷棚田の二つが選定されている。

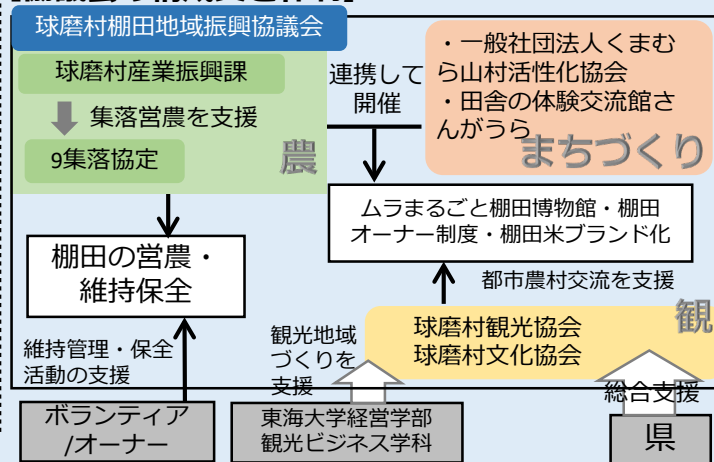
## 【基本情報】

- 保全を図る棚田等：37.7ha（内棚田32.7ha）
- 指定棚田地域：9棚田（鬼ノ口棚田、松舟棚田、田代棚田、毎床棚田、無田久保棚田、松谷棚田、那良棚田、高沢棚田、大瀬棚田）
- その他：豊かなむらづくり全国表彰農林水産大臣賞、日本で最も美しい村、日本棚田百選



活動収入	米・加工品の販売	0%
	棚田オーナー	0%
	イベント	0%
	レストラン、農泊	-
その他（構成団体からの活動助成、積立金）		100%

## 【協議会の構成員と体制】



## 【棚田地域振活動計画の目標・主な取組内容】

### （1）棚田の保全

2地域9棚田における法面管理や農道、水路の維持管理を適切に行なう。石垣や土はの崩れ・土壌流出・耕作道・用水路等の安全確認を協定活動として実施する。

### （2）棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

良好な景観の形成のために、地域の小中学生、ボランティア等による景観保全活動として、菜の花、ヒマワリ、コスモス、そばの花等を植え付ける。集落機能の強化のために、9棚田集落においてコミュニティサロンを開設する。

### （3）棚田を核とした棚田地域の振興

- ・ 棚田ツアーや「球磨村ムラまるごと棚田博物館」構想の態勢づくりのために、地域づくり計画書、ガイドブック、ガイドマップ等を製作する。
- ・ 9棚田ごとに新規に棚田米のブランド化を図りながら、棚田オーナー制度を設立する。



## 【球磨村棚田地域振興協議会ならではの取組】

### （ムラまるごと棚田博物館構想を軸にした参加・協働型の地域づくり）

- ・ 多様な主体の参加を促しながら各集落の棚田を現地展示資産と位置づけ、手作りでお金をかけない野外博物館構想の実現と実践を進めていきます。各棚田集落の集会場をパビリオン（都市農村交流の場）とし、棚田ツアーやボランティアの拠点として機能させます。
- ・ 棚田オーナー制度と棚田サポーター制度を組み合わせた新たな「くまむら棚田倶楽部」（会員制）を発足させ、豪雨災害から復旧・復興を担う観光地域づくりを仕掛けます。

ここがポイント！  
協議会とオーナーとの間を中間支援する組織としてくまむら山村活性化協会が車の要の役割を果たす。



## 【コロナの中で工夫している取組】

### （地域資源の発掘に限定し、人との接触を控えた調査活動に専念しています）

- ・ 9つの棚田と集落を紹介するガイドブックの製作を優先的に進めています。棚田博物館の公式ガイドブックとして位置づけます。
- ・ 各棚田の成り立ちを学術的な視点で探ると同時に、集落や棚田を巡るガイドツアーをする際に、重要な説明の場所や施設となる地域資源について掘り起こしを進めています。

キーパーソン  
構成員の鈴木・東海大学名誉教授が農村地理学の立場から調査活動を支援。



## 【コンシェルジュの活用状況】

（現時点では活用はないが、将来的には見込んでいる）

### ○コンシェルジュによる働きかけ

- ・ 活動の現況把握のための来村アポイントメントあり
- 協議会からコンシェルジュに相談したいこと
  - ・ 地域課題（用水路の補修、作業道の整備、狭地だおし等）への対応と解決を図る道筋について

## 【協議会における関係省庁の事業の活用】

### ○活用されている（予定している）予算事業

- ・ 熊本県指定棚田地域支援促進事業（中山間地農業ルネッサンス推進事業）費補助金

